



2025 年 12 月 20 日

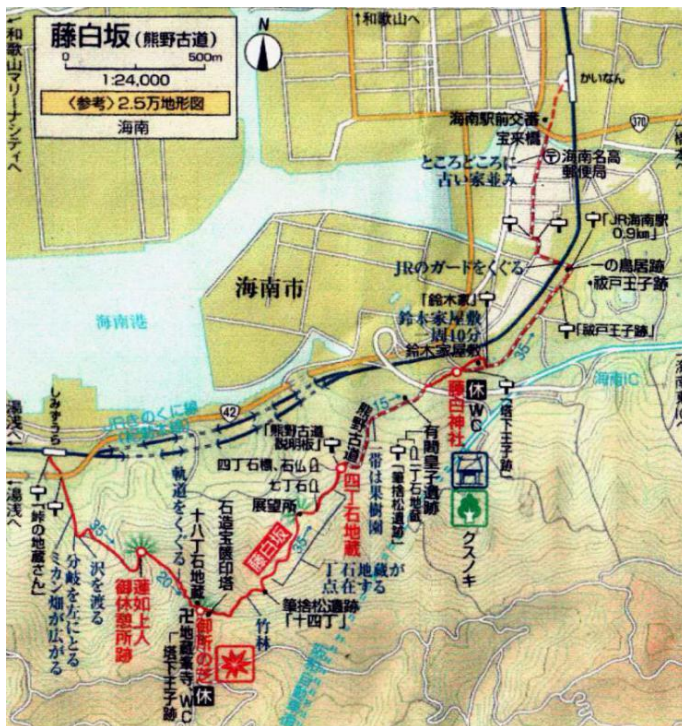
「森と海の自然科」 第 29 回山歩きを楽しむ会

歴史ロマンあふれる熊野古道（藤白坂）歩きの記録

今日の「山歩きを楽しむ会・例会」は熊野古道歩きでした。熊野古道は京都から熊野三山に至るまでの街道で、熊野九十九王子とは難行苦行の道をつなぐために設けられた神社です。

今回はそのうち JR 海南駅から祓戸王子・藤白王子・藤白塔下王子の 3 か所を巡りました。最初は祓戸王子から山口王子までの 8 か所を巡るつもりでしたが、行程距離 14 km と長いので JR 冷水浦駅までのコースにしました。

- | | | | | | | |
|--------|--------------------------|---|---------|-------------|------|------|
| 1：日 | 時 | 2025 年 12 月 16 日（火） | JR 海南駅 | 10 時 40 分集合 | 参加者数 | 11 名 |
| 2：目 | 的 | 森海・第 29 回山歩きを楽しむ会例会の熊野古道歩き | | | | |
| 3：行 | 程 | 天王寺駅～和歌山駅～海南駅・・・宝来橋・・・一の鳥居跡・・・祓戸王子・・・鈴木家屋敷（休館）・・・藤白神社・有間神社・・・有間皇子の墓・歌碑・・・筆捨松・・・藤代塔下王子・・・御所の芝（昼食・トイレ）・・・蓮如上人御休憩所・・・JR 冷水浦駅（解散） | | | | |
| 4：持ち物 | 弁当、水筒、雨具、ストック、その他 | | | | | |
| 5：行程距離 | 約 5.9 km 4 時間 歩数 13120 歩 | | | | | |
| 6：地 | ； | 図 | 下記の地図参照 | | | |



乗車した阪和線の列車が遅れ和歌山駅での乗り換え列車に間に合うか心配しましたが、何とか無事に乗車でき計画通り海南駅に着きました。

駅から熊野古道の標識等にしたがって進み宝来橋を渡り古道を進むと熊野一の鳥居跡に出会いました。ここ通過し分岐点から祓戸王子へと進みいくと、暗い竹藪の道となり、道の両側には地蔵が並んでいました。道の終点到祓戸王子跡と書かれた石碑がありました。



熊野一の鳥居跡にて

祓戸王子への道

分岐点まで引き返し、さらに進んでいくと鈴木家屋敷の建物がありました。見学する予定でしたが、残念休館日でした。（月・火が休刊日とは知りませんでした。）

藤白神社は鈴木家屋敷から少し進んだところにありました。鳥居の奥には立派な楠の大木があり、楠の木そのものが「楠の守神社」となっています。有名な南方熊楠の名前はここから付けられたそうです。神社で参拝とトイレ休憩を取りました。



祓戸王子跡石碑

また神社内には悲劇の有間皇子神社があります。有間皇子は孝徳天皇の長男で次の天皇になる可能性があったが、蘇我赤兄の誘いに乗り謀反の企てたことで、捕縛され牟婁の湯で養生していた斉明天



藤白神社



皇・中大兄皇子の元に裁きを受けに行き、その帰りにこの地藤白神社近くで処刑されてしまった。神社を出発しミカン畑の道を抜けていくと道は急坂となってきました。熊野古道には何か所か難所があります。今の登っていく藤白峠の道もその一つです。ゴロゴロとした石があり歩きにくいところが続きます。その途中樹木の開かれて処からの景色は絶景でした。



藤白神社



藤白峠までの途中の景色



竹藪道の中を進む



筆捨松



筆捨松の説明版

やっとのことで峠まで登り切ったところに藤白塔下王子がありました。地蔵峯寺の裏手に上がったところが「御所の芝」で白河上皇が御幸の行宮跡といわれる。多くの貴族たちが今場所で絶景を楽しんだそうです。ここで昼食にしました。その後、トイレを済ませて冷水浦駅目指して下山します。この道は細くしかも枯葉が積もっているため滑るので慎重に降りていきました。



藤白塔下王子



御所の芝からの展望



枯葉の積もった道を慎重に

下りの急な山道を降り、全員怪我もなく JR 冷水浦駅に着いたのは 14 時半頃でした。次の列車が来るまで駅で待ちました。ホームのそばに赤いサネカズラの実がありました。

<お知らせ>

次回第 30 回山歩きを楽しむ会は「生駒山縦走」です。近鉄生駒駅から山頂までケーブルで上がります。その後、十三峠まで縦走します。



サネカズラの赤い実が



細人の冷水浦駅で待つ